

「障がい者家族会 秋桜」にて家族同士での交流や学習する機会を

他の家族から制度の事や年金の申請の事を聞いてよかった、他の家族と悩みを共有できて気持ちが軽くなった。など、家族ならではの悩みを話す機会や、障がいの内容や制度について勉強する機会も設けています。ぜひご興味のある方は下記までお問い合わせください。

○対象者：障がい種別に関わらず、障がいある方のご家族

○日時・場所：毎月第3木曜日13:30～のどか会議室にて

(変更の場合がありますのでお問い合わせください)

☆新会員募集しています。お気軽にお問い合わせください。

○連絡窓口：家族会秋桜事務局 (地域活動支援センターのどか 担当：辻本)

TEL・FAX：0747-53-2215



コスモス便



<NO.43> 2025.7.30
特定非営利活動法人 吉野コスモス会
〒638-0821 奈良県吉野郡大淀町下淵854-1
TEL/FAX 0747-64-8870
E-mail kosumosukai07@royal.ocn.ne.jp
ホームページ http://yoshino-cosmos.ivory.ne.jp



吉野コスモス会で一緒に働きませんか?

現在、吉野コスモス会では、パート職員(製造、世話人)の求人募集をおこなっています。

☆職種/仕事内容

[1] 製造(パート)：当日中活動(福祉サービス)を利用される方と一緒に食品製造・加工等業務

[2] 世話人(パート)：共同生活を営む住居(定員6名)での夜勤業務(朝・夕食の提供や生活に関する相談や助言、日々の記録等)

☆給与 [1~2] 時給 986円~1,050円 ※経験資格等により異なる

☆勤務時間・曜日

[1] 9:00~16:00の間の時間 ※週2~3回程度

[2] 16:00~翌9:15 ※基本週1回

地域で生活する障がいある方々に真正面から向き合える人材を求めています。詳細等につきましては、法人本部(担当：小南、竹林)までご連絡ください。(0747-64-8870)

後援会からのお知らせ

吉野コスモス会 後援会は、会員を募集しています。コスモス会の活動に共感し、活動を盛り上げて頂ける方など大募集しております。

詳しくは法人本部(担当：小南、竹林)までご連絡ください。

☆特典☆

○機関誌「コスモス便」(年4回)と当事者中心でつくる「巻陽来復通信」をお届けします。

○吉野コスモス会イベント情報をお届けします。

会費：1口1,000円 ※何口でもご入会いただけます。当会事務所でも入会可能です。

郵便振替口座：特定非営利活動法人 吉野コスモス会後援会 00910-3-225609

ほんぶ 本部あいさつ

世間では「令和の米騒動」なる事態が起こっています。国は備蓄米を放出したが、世間一般には出回らず、現在の備蓄米放出では直接販売業者へ託すことで価格の低下が進んでいるところです。さて、この今回の米騒動を私なりに分析してみると、そこには「緊急性」という言葉についての「熱量」の差が大きく関わっていたのではないかと考えます。

1度目の備蓄米の放出の際は大手の企業が入札した事により、国中、これでやっと米不足が解消されると思っていたところ、そうはなりません。国は焦り、再度備蓄米を放出。それでも事態はなかなか改善せず、ここ最近ようやく店頭で価格の高くない米が出回る事となりました。

大手の企業がどのようなことで今回の経緯に至ったのか、まではわかりかねますが、一つ分かることは、国の「緊急性」国民の「緊急性」企業の「緊急性」がそれぞれ違った「熱量」であったことが、今回の「令和の米騒動」の一端ではないかと考えています。

例えばこれが、災害時だったらどうでしょう?本来の事務的な流れも、いったん置いて進める事ができたのではないのでしょうか?

この「緊急性と熱量の違い」という事例は福祉の世界にも存在します。

今まさにサービスが必要な方、例えば、突然家族と同居が難しくなり、本人だけの生活になってしまった方などに、いかに早く正しいサービスを届けられるか。支給決定を出す自治体がそれらをどう理解するか、事業所がいかに伝えるか。「緊急性」の熱量をどこまで共通認識できるかが大切ではないのでしょうか。

福祉に携わる私たちは、そのために最善の判断が問われます。何を以って何をするのか自問自答する今日この頃です。



吉野コスモス会 統括マネージャー

かくぶもん ほうこく 各部門からご報告

せいかつそうだん 生活相談センターのどか (市町村委託事業)

シリーズ「意思決定支援とは」パート4

みな 皆さま。パート3では「意思決定を制限なくできる世の中なのか？」を考えていただきました。「障がい」を社会的バリアと捉える時、障がいがある方が自分にとって心地よい選択肢がない状態で「選択」をするでも、他人が得意とする方法で「選択」するのでもない。誰もが心からの希望に基づいて意思決定ができるような社会になれば良いと思います。わたしたちは、日々障がいがある方、そのご家族を訪問しながら、ご本人自ら自由に意思決定できる工夫を行うことを、社会的バリアを乗り越えていける方法を見つける気持ちを忘れないようにしたいと思っています。



よしの かい きょうどうせいかつえんじょじぎょう 吉野コスモス会ハウス (共同生活援助事業)

まいとしおこな 毎年行っている“余暇支援”ですが、老若男女全員が楽しめる企画の難しさ・集団が苦手という人もおり、個別にも行えたらな～と考えていました。そこで今年度から入居者の誕生日になれば3つの選択肢からお祝いの品を選んでいただき、誕生日付近にプレゼントとしてお渡しすることとなりました。お祝いの品は、大淀町にある超有名菓子店のケーキ、近くのスーパーで使える商品券、そして職員がチョイスしたその人の生活にあったら便利そうなグッズ等…。ささやかなものではありますが、グループホーム生活の楽しみの一つになれば良いなと思っています。



ちいきかつどうしえん 地域活動支援センターのどか (市町村委託事業)



ちいきかつどうしえん 地域活動支援センターでは、軽作業として100円ショップでよく見かける取っ手付きかごの組み立てを行っています。以前は商品ラベルを貼る作業もありましたが、現在は取っ手パーツの取り付けが主な内容です。この作業で得た収益は「スマイル基金」に積み立て、みんなで外出する際の資金として活用しています。どなたでもできる簡単な作業ですので、初めての方もぜひ一緒に取り組んでみませんか？ご参加をお待ちしています。

こうぼう しゅうろうけいぞくしえん がた ういる工房 (就労継続支援B型)

ういる工房では毎年少しずつでも売上を増やしていけるように1人1人が頑張る仕事に取り組んでいます。お客様はお金を出してういる工房の商品を購入して下さっている。だから皆さんはプロですよと声をかけ、プロ意識を持ってもらう事によって自信をつけてもらい、それが良い商品を作り出す事に繋がっていると思います。ういる工房で自信をつけたことによって、一般就労へ巣立っていかれた方もおられます(嬉しいことですが、さみしい面もあります)。これからも障がいがある人達に自信をつけてもらい、自己肯定感が上昇する支援を続けていこうと思います。



とよう うし ひ 土用の丑の日

今年は土用の丑の日が7/19(土)だったので、7/18(金)にういる工房で鰻磯巻き寿司・鰻きゅうり巻き寿司・鰻玉子巻き寿司の3種類を販売しました。一般的に土用の丑の日は、夏の土用の期間にある丑の日のことを指しますが、夏以外の季節にも土用の丑の日は存在します。日本では夏の暑さに対する滋養強壮として鰻を食すという習慣があります。鰻を食べる習慣は江戸時代後期に始まったものですが、もともと丑の日には「う」の付くものを食べるという習慣があり、古くは瓜やうどんが食されていたそうです。夏に「う」の付くものを食べることと同様の習慣は他の季節にもあり、春は「い」、秋は「た」、冬は「ひ」とされていたようです。



へんしゅうこうき 編集後記

6月から非常に暑い日が続いており、毎年40℃を超える猛暑が当たり前になっております。熱中症対策として、1日3回バランスの良い食事を摂ることや、しっかりと睡眠を摂る等があげられるかと思っております。忙しい方も多いかと思っておりますが、忙しい時程睡眠時間を確保するように意識してみてもいいでしょうか。こまめに水分補給したり、ネッククーラー等の熱中症対策グッズを活用して、暑い夏を乗り切りましょう！